中学校 第１・２学年 球技ネット型

運動に関する指導内容

【運動の課題解決につながる学習内容】

提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶこと。

対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であること。

提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えること。

ボールや用具の操作

ボールを返す方向にラケット面を向けて打つこと。

サービスでは、ボールやラケットの中心付近で捉えること。

テイクバックをとって偏り高い位置からボールを打ち込むこと。

相手側のコートの空いた場所にボールを返すこと。

味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと。

ボールを持たないときの動き

ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対すること。

相手の打球に備えた準備姿勢をとること。

プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ること。

【運動の技能向上につながる学習内容】

球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること。

体力、健康・安全に関する指導内容

【健康・安全の意識を高める学習内容】

健康・安全に留意すること。

学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えること。

球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素がことなること。

知識

技能

思考力 判断力 表現力等

学びに向かう力・人間性等

【公正・公平の態度を養う学習内容】

マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとすること。

練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えること。

【共生の態度を養う学習内容】

一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとすること。

体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えること。

【責任・協力の態度を養う学習内容】

練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとすること。

仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けること。

球技の学習に積極的に取り組もうとしている。

【参画する態度を養う学習内容】

作戦などについての話合いに参加しようとすること。

仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けること。

【特性や成り立ちの学習内容】

学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていること。

球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があること。

運動実践につながる態度に関する指導内容

生涯スポーツの実践に関する指導内容